

## 第3学年 英語科学習指導案

日 時 平成26年11月10日(木) 第6校時  
 学 級 3年B組(男子23名、女子14名)  
 授業者 教諭 阿部和人

### 1 単元名 PROGRAM7 What Is the Most Important Thing to You? (Sunshine English Course 3 開隆堂)

#### 2 単元について

本単元は、途上国における山本敏晴氏のボランティア活動を題材としている。その活動の一つとして、「お絵かきプロジェクト」が取り上げられている。途上国の子どもたちが描いた絵には、自国の環境や平和に対する切実な願いが込められている。この題材から、途上国に直面している状況と、自分の国に夢や希望をもって生きる子どもたちの存在に気付かせたい。また、山本氏の活動は「人材育成」であることが特長の一つである。「与えること」だけではなく、「自立できるようにすること」を目指した支援は、Program9で扱うマザー・テレサが行った活動とよく似ている。Program9の学習後に、この二人のよく似ている部分を本文から探し、抜き出させることにより、「支援するとはどういうことなのか」「人のために生きることとはどういうことなのか」を考えさせたい。その第一段階として、本単元では、“What’s the most important to you?”に対する自分の考えを書かせたい。

本単元で扱う言語材料は、主格の関係代名詞 who・which・that である。前単元で学習した現在分詞・過去分詞による後置修飾と比較しながら文の構造や意味、働きを理解させたい。

#### 3 生徒について

約8割の生徒が「英語が好き」「どちらかと言えば好き」と答えている一方、ちょうど半数の生徒が英語に対する苦手意識をもっている(下表)。昨年度の岩手県学習定着度状況調査の正答率は県平均48.9に対し、本校生徒(現3年生)は46.4だった。分析の結果、「正しく書く問題」や「正しい語順で書く問題」に県平均との大きな差が見られたため、生徒が「書くこと」に自信がもてるよう、意識的に指導を行ってきた。

本時は本文の内容理解が中心となる。4技能の中で、「読むこと」が好きな生徒は最も少ない。本文に書かれてある事実だけでなく、行間を読み取らせることで「読むこと」の楽しさを味わわせたい。

表1 英語授業に関するアンケート(3年B組 34名) 10月21日(火)実施

質問	回答	人	質問	回答	人
1 あなたは英語が好きですか。	ア 好き	11	3 次のうち、一番好きな活動は何ですか。	ア 聞くこと	6
	イ どちらかと言えば好き	17		イ 話すこと	8
	ウ どちらかと言えば嫌い	5		ウ 読むこと	5
	エ 嫌い	1		エ 書くこと	15
2 あなたは英語が得意ですか。	ア 得意	5	4 次のうち、一番身に付けたい力は何か。	ア 聞くこと	4
	イ どちらかと言えば得意	12		イ 話すこと	14
	ウ どちらかと言えば苦手	8		ウ 読むこと	3
	エ 苦手	9		エ 書くこと	13

#### 4 単元の指導目標

- (1) 途上国に直面している状況を知り、その感想を述べたり、自分にとって最も大切なことを英語で書いたりすることができる。【外国語表現の能力】
- (2) 山本敏晴氏が行うボランティア活動の趣旨や途上国に直面している状況を理解させる。【外国語理解の能力】
- (3) 主格の関係代名詞 who・which・that を用いて、人やものを紹介することができるようにする。  
【言語や文化についての知識・理解】
- (4) 間違いを恐れずに、英文作成に取り組むことができるようにする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

#### 5 自校のCan-Doリストとの関連

3年「読むこと」 (2)書かれた内容や考え方などに対して感想を述べたり、自分の意見やその理由を示したりすることができる。
---

## 6 単元の評価規準

ア:コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ:外国語表現の能力	ウ:外国語理解の能力	エ:言語や文化についての知識・理解
英文作成の活動において、完成に向けて、最後まで取り組もうと努力している。	①途上国に直面している状況を知り、その感想を英語で書くことができる。 ②自分にとって最も大切なことについて、英語で書くことができる。	①山本氏のボランティア活動のねらいを理解する。 ②途上国の状況やその国に住む子どもたちの思いを読み取ることができる。	主格の関係代名詞 <b>who</b> ・ <b>which</b> ・ <b>that</b> を用いた文の構造を理解している。

## 7 単元の指導計画

時	指導内容	評価の観点	評価方法
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>本単元の目標・学習内容を把握させる。</li> <li>主格の関係代名詞 <b>who</b> を用いた文の構造・意味・用法を理解させる。</li> <li>主格の関係代名詞 <b>who</b> を用いて、自分がよく知っている人を説明する文を書かせる。</li> </ul>	エ ア	ノト・後日ペーパーテスト 観察
第2時	<ul style="list-style-type: none"> <li>主格の関係代名詞 <b>which</b> を用いた文の構造・意味・用法を理解させる。</li> <li>主格の関係代名詞 <b>which</b> を用いて、自分が好きなケーキを説明する文を書かせる。</li> </ul>	エ ア	ノト・後日ペーパーテスト 観察
第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>主格の関係代名詞 <b>that</b> を用いた文の構造・意味・用法を理解させる。</li> <li>主格の関係代名詞 <b>that</b> を用いて、自分がよく知っているお店を説明する文を書かせる。</li> </ul>	エ ア	ノト・後日ペーパーテスト 観察
第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>“He also started a program to train people who want to work as doctors or nurses in those countries.” の意味を確認し、その理由を考えさせる。</li> </ul>	ウー①	ワークシート
第5時(本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文や資料をもとに途上国に直面している状況を読み取り、その感想を書かせる。</li> </ul>	イー① ウー②	ワークシート 観察
第6時	<ul style="list-style-type: none"> <li>“What is the most important thing to you?” の問いに対する自分の答えを書かせる。</li> </ul>	イー②	ワークシート

## 8 本時の構想

### (1) 本時の目標

- 教科書の本文やその他の資料をもとに途上国に直面している状況を読み取り、自分の考えを書かせる。

### (2) 研究に関わって

視点1 「単元及び1時間単位の指導目標(到達目標)を明確にした指導の工夫」について

- 本時で学習する内容と、単元の到達目標との関連を伝える。

視点2 「学ぶ意欲を喚起する学習課題の工夫」について

- マルアオ君にとっての一番大切なものを予想させた後で、マルアオ君が描いた絵を見せることにより、疑問や意外性を生み出す。

視点3 「学習課題に即した言語活動の工夫」について

- 「新聞記事を完成させよう」という活動にすることにより、自己決定の場を設定する。

視点4 「次時へ意欲をつなぐ、ふり返りの場の設定」について

- このページで気付いて欲しかったことについて教師がコメントし、次時への意欲をつなぐ。

(3) 本時の評価

具体的評価規準 評価の観点	A：十分に満足できる	B：おおむね満足できる	Cの生徒への手立て
外国語理解の能力	英文や資料などから明確な根拠を見つけ、ツバルに直面している状況を読み取ることができる。	英文や資料もとに、ツバルに直面している状況を読み取ることができる。	ヒントとなる英文や単語を示し、書かれてある内容を読み取ることができるようにする。
外国語表現の能力	新聞記事の結びとなる文を自分のことと繋げて考え、英語で書くことができる。	新聞記事の結びとしてふさわしい文を考え、英語で書くことができる。	単語レベルでも構わないので、思ったことを英語で表現できるよう助言する。

(4) 本時の展開

	学習内容	学習活動	形態	指導上の留意点（・） 評価（○）
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯活動</li> <li>・確認</li> <li>・ツバルの背景知識理解</li> <li>・予想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・となりの人に「もの」を英語で説明する・答える。</li> <li>・“Mr. Yamamoto asks children to draw something which is important to them.”の意味を確認する。</li> <li>・ツバルが位置する場所、島の風景、子どもたちの様子などを知る。</li> <li>・マルアオ君にとって一番大切なものは何かを予想させる。(family, friend, natureなどが出てくると予想される)</li> <li>・マルアオ君が描いた絵を見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペア</li> <li>個</li> <li>一斉</li> <li>個</li> </ul>	<p><b>視点1</b> 本時の内容と到達目標との関連を伝える。</p> <p>・写真を見せながら説明する。</p> <p><b>視点2</b> 予想させた後で絵を見せることで、疑問や意外性を生み出す。</p>
	学習課題：ツバルに直面している状況を読み取り、新聞記事を完成させよう。			
展開 27分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事の内容理解</li> <li>・ツバルの状況について</li> <li>・新聞記事の完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容理解の問いに答える。(リポート)</li> <li>・答えを確認する。</li> <li>・ツバルの状況についての解説映像を見る。</li> <li>・新聞記事の結びとなる文を考え、英語で書く。(リポート)</li> <li>・発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個</li> <li>個</li> <li>個</li> <li>グループ</li> </ul>	<p>○文章をもとに答えを記入している。(リポート・観察)</p> <p>・「地球温暖化」のキーワードを生徒から引き出す。</p> <p><b>視点3</b> 新聞記事を完成させる活動とすることで、自己決定の場を設定する。</p> <p>○新聞記事の結びとしてふさわしい文を英語で書いている。(リポート)</p>
	終末 8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価</li> <li>・次時の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価および、本時の感想を記入する。</li> <li>・次ページの写真にある、少女の表情に触れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個</li> </ul>

NO. 24

pp. 76-77  
PROGRAM 7 ②

# sura-sura English

A: Can you \_\_\_\_\_ me that pen, please?

(あのペンを私に見せてくれませんか。)

B: This \_\_\_\_\_?

(これのことですか。)

A: No. I want to see the pen \_\_\_\_\_ is next to it.

(ちがいます。私はそのとりにあるペンを見たいのです。)

B: OK, \_\_\_\_\_ you are.

(分かりました。はい、どうぞ。)

## 1【和訳】

Mr. Yamamoto asks children to draw something which is important to them.

→ \_\_\_\_\_

## 2【予想】

マルアオ君にとって一番大切なものは何だと思いますか？ → \_\_\_\_\_

## 3【内容理解1】新聞記事から読み取りましょう。

(1) マルアオ君にとって、一番大切なものは何ですか？ → \_\_\_\_\_

(2) そうしないと、ツバルはどうなってしまいますか？

→ \_\_\_\_\_

## 4【内容理解2】

(1) 下線①に入る形容詞を考えよう。

(2) 下線②global warmingの意味を考えよう。

5【チャレンジ】 下の新聞記事を完成させよう。

# Some Facts About Tuvalu

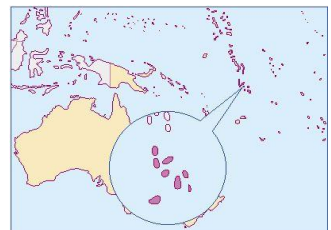


Here is a picture drawn by Maruao, a 13-year old boy in Tuvalu. This picture shows that it is important to stop climate change. If not, Tuvalu may go under the sea.

そうしないと

Tuvalu is an island country east of Indonesia and

Australia. There are nine islands and 10,000 people in Tuvalu. It is one of the smallest countries in the world. It is much smaller than Ichinoseki City. The smiles of the children in Tuvalu look \_\_\_\_\_.



But some of them are worried and scared of climate change. The highest point in Tuvalu is just five meters above sea level. If global warming continues, their country may sink under water. It is a big problem for them.

①

心配している

～を恐れている

気候変動

海拔

② ( )

続く

沈む



## 《役に立つ表現》

- I think (that) 文. • It-to 構文 • make+④+形容詞
- 比較級 • 最上級
- 助動詞 must (mustn't) /should (shouldn't) /can (cannot) /will (won't)
- I (We) have to...(don't have to...)/ I (We) want to...(don't want to...)

## 《役に立つ接続詞》

- and そして
- but しかし
- because なぜなら
- so だから
- when ~の時